

❖ 科目名 Course Title			
一般教育演習（フレッシュマンセミナー） 南紀熊野の自然と人々の暮らし・初春編			
❖ 担当教員 Instructor			
中村 誠宏			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	5（対面）	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	演習		

❖ キーワード Key Words	
南紀、熊野、古座川、照葉樹林、森林、生態系、林業、スギ、ヒノキ、野生動物、生活、産業、山村、景観、流域、フィールドワーク、暖温帯、落人、限界集落、ジオパーク	
❖ 授業の目的 Course Objectives	
❖ 授業概要 Course Description	
北大で唯一、道外にある研究教育施設である和歌山研究林において、数日間の合宿形式で演習を行う。暖温帯に属する熊野地方の初春の自然環境（照葉樹林・人工針葉樹林・古座川流域）と、山村における過去および現在の暮らしを観察・体験し、この地域の自然環境と人の生活の関連性を考える。さらに、北海道の自然や暮らしとの違いを実感する。	
❖ 到達目標 Course Goals	
熊野地方の初春の自然環境と、山村における過去および現在の暮らしの関連性について、実体験に基づいた理解ができるようにする。また、北海道との違いについても具体的に気づけるようにする。さらに、自然を対象とした調査・研究手法も身につける。一連の経験を通じて、自然や地域社会に関する視野を広げる。	
❖ 授業計画 Course Schedule	
2－3月の時期に和歌山研究林に滞在し、5日間かけて以下の実習・演習を行う予定（荒天の場合は別メニュー）。 1 ガイダンス 2 炭焼作業（備長炭） 3 照葉樹林観察 4 林業・製材・木工作業 5 野外炊飯 6 野生動物観察 7 古座川流域観察 8 特産品加工 9 フィールド研究紹介（授業） 10 設定された課題に関するプレゼンテーション（グループ作業） 11 レポート作成	
❖ 成績評価 Grading System	
ガイダンスと演習の受講態度、および課題のプレゼンテーションとレポートが演習目標をよく理解して、要領よく作成されているかを評価の基準とする。	
❖ テキスト Textbooks	
日本列島の野生生物と人 / 池谷和信：世界思想社，2010，ISBN:978-4-7907-1471-2 シリーズ群集生態学4「生態系と群集をむすぶ」 / 大串隆之・近藤倫生・仲岡雅裕：京都大学学術出版会，2008，ISBN:9784876983469	
❖ 参考書 Reading List	
枯木灘 / 中上健次：河出書房新社，1980，ISBN:4309400027 森のめぐみ 熊野の四季を生きる / 宇江敏勝：岩波書店，1994，ISBN:4-00-430353-2 誰も知らない熊野の遺産 / 梅嶺レイ：ちくま書房，2017，ISBN:9784480069740	

❖ 準備学習 Homework 南紀熊野地方の自然、暮らし、民俗、文化や歴史などについて、書籍・論文・雑誌・インターネットを使って事前調査しておくこと。書籍の場合は1冊以上、学術論文の場合は1編以上、一般雑誌の場合は3誌以上読んでおくこと。インターネットでの検索学習の場合は3時間以上かけて調べること。事前学習の成果はガイドンスあるいは実習中に発表してもらうことがある。
❖ オフィスアワー Office Hour
❖ 連絡先 (E-mail) E-mail
❖ 質問・相談への対応方法 Contact Information
❖ 履修上の注意 Notes
❖ 備考 Other Information 集合は和歌山研究林の最寄駅(JR串本駅・周参見駅など)を予定(詳細はガイドンスで説明)。最寄駅までの旅費は自己負担。参加者は和歌山研究林の宿泊施設に滞在する。参加費は食費を含み5日間で9000円程度。納付された参加費は原則、欠席しても返却しない。交通が大変不便な場所にあるので旅行計画を早めに立て、チケット予約しておくことを強く勧める(予約時期で交通費がかなり違う)。日程によっては研究林施設への前泊・後泊を受け入れることがあるので相談のこと。山歩きが出来る服装・長い靴下・靴・雨具が必要。昨年までの演習の様子については和歌山研究林のホームページで公開している。問い合わせは中村(masahiro@fsc.hokudai.ac.jp)まで。

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修できる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。